



press release

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

## セミナー「ジェンダーとメディア」開催

9月9日、東京・内幸町の日本記者クラブで

朝日新聞社ジャーナリスト学校はセミナー「ジェンダーとメディア」（協力・公益社団法人日本記者クラブ）を9月9日（土）に東京・内幸町の日本記者クラブ10階ホールで開きます。

世界各国の男女格差を指数化した世界経済フォーラム（WEF）の2016年版「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本は調査対象144カ国のうち111位でした。男女間の不平等が大きい日本の現状と、メディアの表現に関係性はないのか。無自覚に「女は、男はこうあるべきだ」という性別による役割分担の偏りを固定化するような報道、表現をしてこなかったか、検証する必要があります。

一方、企業広告の世界では女性に関する表現をめぐり、ネットで「炎上」が相次いでいます。育児の風景を描いた日用品メーカーの動画広告に対し、「子育て＝母親一人の仕事」といった「ワンオペ育児」を肯定しているという批判が殺到しました。また、ある化粧品メーカーのCMは「男性目線の女性像」として批判を浴び、放送中止となりました。SNSの利用がここ数年で劇的に拡大し、広告を含めたメディア表現は日常的に〈ジェンダーの視点〉から注視されています。

また、ジェンダーのみならず、性的少数者（LGBTなど）への配慮など人権や多様性の観点からも、これまでの報道、メディア表現を検証し、見直す必要があります。

セミナーでは、国内外の新聞、テレビ、ネット、広告などの表現のどこに問題があるのかを参加者で考えます。さらに、積極的に男女平等を促し、社会の「多様性リテラシー」を高める新たな表現を考え、作り出す場にしたいと思います。

### ジェンダーとメディア

女性活躍推進など社会の各分野の男女格差を指数化した「ジェンダー・ギャップ指数」が世界111位の日本。世界中の不平等を、メディアが映写しているのではないかと。本セミナーは、「ジェンダーとメディア」の関係の現状と課題を解説し、メディアの表現に関係性はないのか。無自覚に「女は、男はこうあるべきだ」という性別による役割分担の偏りを固定化するような報道、表現をしてこなかったか、検証する必要があります。

2017.9.9 (土) 12:00~16:30

会場 日本記者クラブ10階ホール

参加費 5,000円(税込)  
申込方法 要申込(申込書の提出)  
定員 100人  
申込締切日 2017年9月5日(火)



03-5541-8629 outouch@caite.com

主催 朝日新聞社ジャーナリスト学校 協賛 日本記者クラブ

> contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 ジャーナリスト学校  
TEL 03-5541-8629



press release

2017年8月2日

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

## ■概要

◇日時：9月9日（土曜日） 12:00～16:30

◇会場：日本記者クラブ 10階ホール（東京都千代田区内幸町2-2-1）

<https://www.jnpc.or.jp/outline/access>

◇参加料 5000円（税込）

◇参加お申し込みは下記URLから。9月5日（火）締め切り

<http://ciy.asahi.com/ciy/>

◇定員 先着100人

◇プログラム

①基調講演「悪気がないなら、変わりましょう」

小島 慶子 エッセイスト

②「メディアスポーツとジェンダー」 森田 浩之 ジャーナリスト

③「多様性リテラシー～海外事例から」野澤 健 エコネットワークス代表

④「ジェンダーガイドブック 2017～新聞社の取り組み」

志村 文史 朝日新聞社用語幹事

⑤パネルディスカッション「ステレオタイプを超えて」

高田 聡子 マッキンゼーエリクソンクリエイティブディレクター

宮崎真佐子 TBS プロデューサー

駒崎 弘樹 認定NPO 法人フローレンス代表理事

大門小百合 ジャパンタイムズ執行役員編集・デジタル事業担当

◆主催：朝日新聞社ジャーナリスト学校

◆協力：公益社団法人 日本記者クラブ

※お問い合わせ：朝日新聞社ジャーナリスト学校（☎03-5541-8629）

メール [outreach@asahi.com](mailto:outreach@asahi.com)

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 ジャーナリスト学校

TEL 03-5541-8629